

2018年7月13日(金)

平成30年度 ドバイ日本人学校 音楽発表会

スローガン 一唱懸命 ～届け！私たちの思い～

小学部1・2年生



○みんなでこえをあわせて、うたをおおきいこえでうたいました。(G1男子)

○やまねこバンガローのピアノが1ばんじょうずにできてうれしかった。(G1女子)

○じぶんのやることが、しっかりとできていてよかったです。みんなも、きれいにしせいもできていてよかったです。(G2男子)

○今日は、山ねこバンガローをがんばりました。まちがえなくてよかったです。うたもきれいにうたえたのでよかったです。(G2女子)



小学部3・4年生



○ぼくは、ぶたいにのるときに心ぞうがドキドキしました。しかし、歌いはじめると、きんちょうがなくなりました。八木ぶしのえんそうは、かけ声からはじまります。ぼくは、大きな声を出しながら、「みんなの声がすごくあっているな」と思いました。えんそうをされていて、少しおくれてしまったところがありました。すぐにおいつけました。来年はよりよいえんそうが発表できるよう、がんばりたいです。

(G3男子)

○わたしは、よくできたことが、二つあります。一つ目は、「この星に生まれて」を歌うとき、きんちょうしないで歌えたことです。これからも、歌をていねいに歌っていきたいです。二つ目は、「学校さか道」のメロディーを、G4と重ねることができました。G3とG4の二つのメロディーが重なり、とてもきれいな音楽になりました。はんせい一つあります。それは、八木ぶしのえんそうのときに、しきを少ししか見なかったことです。つぎの発表会ではしきをきちんと見ることができるよう、ふだんから集中して宿題やべんきょうをして、集中を大切にしていきたいです。(G3女子)

○ぼくは、G3とG4で練習の成果を出すことができた音楽発表会になったと思います。「学校坂道」は、大きな口を開けしっかり歌うことができました。「この星に生まれて」では、もう少しくちびるを動かして歌えたらよかったと思いました。「八木節」では、パートごとに楽器のかけ合いがうまくいきました。次の音楽発表会に向けて、ふだんから発表やかけ声の時は、はきはきいう練習をしたいです。(G4男子)

○私は、「八木節」の合奏では、リコーダーをふきながら指揮をずっと見ることができたので、よかったと思います。繰り返しになるところでバラバラになったり、最後の部分が少し速くなりすぎたりしたところが残念でした。ふだんから、先生の話をよく聞いたり、自分の周りのことに気配りをしたりして、集中して取り組んでいきたいです。そして、次の音楽発表会に生かしていきたいです。(G4女子)



小学部5・6年生



○ぼくは音楽発表会で、きいている人がおどろくような演奏ができたと思います。特にぼくが心に残ったのは、アフリカン・シンフォニーです。小さく演奏するところは小さくして、迫力のあるところは大きく演奏できたので、すごく良い演奏になったと思います。合唱は休み時間を使って頑張って練習してきました。次は熱沙祭があります。熱沙祭でも音楽発表会で学んだことを生かしたいと思います。(G5男子)

○私は、今回の音楽発表会で学んだことがあります。それは、短期間でもみんなががんばれば素晴らしい演奏ができるということです。たった三週間という短い期間でしたが、スローガンにあるように一唱懸命、気持ちをこめて練習することができました。音楽発表会を成功させることができたのは、高学年全員が休み時間をつかって教え合い、支え合うことができたからだと思います。また、一人ひとりが全力で練習に打ち込むことができたことも成功につながりました。そんな所がG5とG6の良い所だと気付きました。本当に今回の音楽会は、みんなの思い出に残る、素晴らしいものだったと思いました。(G5女子)

○ぼくは、音楽発表会で自分の目標は達成できたと思います。練習の時、合奏でとまどっていた人に教えてあげている友達を見ました。つながりが深まっているなあと思いました。本番は緊張しましたが、ぼくたちの練習の成果を発揮できました。音楽発表会で得た、みんなとの「つながり」をこれからも大切にして、熱沙祭などに生かしていきたいと思います。そのために、ふだんの学校生活でもみんなとつながりを深めたり、協力したりしていきたいと思います。(G6男子)

○合奏の「アフリカン・シンフォニー」を演奏しているとき、少し速くなってしまったけれど、G5・6のみんながフォローして、速くなっていったテンポと同じテンポで演奏ができていて、よかったなと思いました。この音楽発表会の練習などで、G5とG6のみんなが仲良くなれたので、これからも仲良くなっていけばいいなと思いました。合奏で初めてやるティンパニも慣れました。練習の時にいきなり先生から、アゴゴもやってみてと言われましたが、ティンパニではない初めての楽器をできてよかったです。熱沙祭の練習でも、もっともっとG5とG6が仲良くなれて、分からないことがあったらフォローをし合えたらいいなと思います。(G6女子)



中学部



○今回の音楽発表会の期間の中で、私が最もできた、と感じる点は、練習する時間を自分達で「作る」ことができた点です。短い期間の中ではあったものの、休み時間にも練習をして、なるべく練習時間を増やし、たくさん工夫もすることができました。本番では、個人的なミスや、全体的な失敗もありましたが、自分達で気をつけようと決めたこと、先生から教わったことを最大限に活かすことができたと思います。今回得たことを、次の熱沙祭や普段からも発揮できるように、努力していきたいと思います。
(G7女子)

○これまで、合唱の練習はすごくたくさんやってきたので、日に日に上達していくような気がした。全員で練習している時に出てくるアドバイスの数も増えていき、意識の高まりを感じた。合奏は本当にそろったのは最後の方で、最初はみんな気持ちがバラバラで全くそろわなかったのに、よく最後であんなにまとめられたと思う。でも、いざ本番となると、どちらも練習のように上手くはいかなかった。それは練習不足だと思う。次の熱沙祭ではそのような反省を生かせるといいと思う。(G8女子)

○今回は5回目の音楽発表会でしたが、今までの中で一番楽しかったです。自分たちが引っ張っていく立場というということもあり、自由に言いたいことが言えたからだと思います。今までの先輩たちはどういう思いで私たちと練習していたのだろうということが少しわかった気がします。そして、私が5年間DJ Sにいて思ったことですが、中学部が一番上だということです。私が小学生の時、一番楽しみにしていたのは中学生の発表です。そして、期待通り中学部の発表は素晴らしかったです。今回の発表がそうだったら良いと思いました。(G9女子)

